

令和7年度 事務事業評価表 ( 令和6年度実績 )

事務事業名		ストックマネジメント計画の見直し				担当所属	上下水道局企画調整課		
基本情報	分野	7 生活基盤			事業期間	令和6年度 ~ 令和6年度			
	基本施策	4 水道の安定供給と下水道の充実			会計種別	下水道事業会計			
	推進施策	2 下水道施設の整備			実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	市内全域							
	意図	5年間の計画策定							
	成果	次期ストックマネジメント計画の策定							
	手段	新しいストックマネジメント計画を策定し、効率的に下水道施設の維持管理、更新を行う。							
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込	
		ストックマネジメント計画の策定		目標値	業務	0	0	1	0
				実績値	業務	0	0	1	-
				目標達成度	%	-	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算		
	トータルコスト		0	0	0	15,929	0		
	事業費		0	0	0	12,177	0		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	12,177	0		
	人件費合計		0	0	0	3,752	0		
	正職員		0	0	0	3,752	0		
	正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境 設備の老朽化、維持管理予算の削減。								
	現状の周辺環境 設備の老朽化、維持管理予算の削減、技術職員の減少。								
	今後の予想される周辺環境 設備の老朽化、維持管理予算の削減、技術職員の減少。								
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	R7～R11の下水道管路施設の修繕・改築計画を策定した。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		B					
	有効性	4. 計画の実施状況		A	策定した計画に従って、修繕・改築を計画的に行っていく。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A					
		6. 上位施策への貢献度		A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	計画的に下水道管路施設の修繕・改築を行い、安定した下水道事業を行っている。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A					
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	D	ストックマネジメント計画は定期的に見直す必要があるが、今回の策定業務は、6年度で終了。							
改革案	今後の実施方向性	廃止・休止	将来的には、官民連携手法の導入をするなど、着実に計画が実行できる方法を検討する。						
	成果方向性								
	コスト方向性								
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								

令和7年度 事務事業評価表 ( 令和6年度実績 )

事務事業名		汚水処理施設の計画策定				担当所属	上下水道局企画調整課	
基本情報	分野	7生活基盤			事業期間	令和6年度 ~ 令和6年度		
	基本施策	4 水道の安定供給と下水道の充実			会計種別	下水道事業会計		
	推進施策	2 下水道施設の整備			実施計画		総合戦略	
事業概要	対象	徳山中央処理区。						
	意図	全体計画・事業計画の変更。						
	成果	持続的な徳山中央浄化センターの再構築事業の推進。						
	手段	継続的な事業の推進のために、終末処理場の水処理方法等の変更を行う。						
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込
		事業計画策定実施数	目標値	業務	0	0	1	0
			実績値	業務	0	0	1	-
			目標達成度	%	-	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	
	トータルコスト		0	0	0	12,453	0	
	事業費		0	0	0	4,950	0	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	0	4,950	0	
	人件費合計		0	0	0	7,503	0	
	正職員		0	0	0	7,503	0	
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境 徳山中央浄化センターの老朽化。							
	現状の周辺環境 施設の老朽化、技術職員の減少。							
	今後の予想される周辺環境 国庫補助金の削減、施設老朽化、技術職員の減少。							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	安定的な再構築事業推進のために、必須である。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	再構築事業の推進に必要な計画である。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A					
		6. 上位施策への貢献度	A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	官民連携手法を取り入れ、適切に再構築事業を進めている。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	D	計画策定が終了し、7年度より工事に着工するため、下水道施設課へ業務が移る。						
改革案	今後の実施方向性	廃止・休止	計画に沿って、着実に再構築事業を進めていく。					
	成果方向性							
	コスト方向性							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）	民間の技術力を友好的に活用することで、効率的に業務が遂行できる。						

令和7年度 事務事業評価表 ( 令和6年度実績 )

<b>事務事業名</b>		上下水道事業企画・計画業務（下水）			<b>担当所属</b>	上下水道局企画調整課		
基本情報	<b>分野</b>	7生活基盤		<b>事業期間</b>	～			
	<b>基本施策</b>	4 水道の安定供給と下水道の充実		<b>会計種別</b>	下水道事業会計			
	<b>推進施策</b>	3 上下水道施設の長寿命化・耐震化		<b>実施計画</b>		<b>総合戦略</b>		
事業概要	<b>対象</b>	管渠や浄化センターなどすべての下水道施設						
	<b>意図</b>	下水道施設の適正な維持管理と計画的な更新を行う。						
	<b>成果</b>	下水道の持続的な機能確保を図る。						
	<b>手段</b>	下水道施設全体を俯瞰したストックマネジメント計画に基づいて効率的に下水道施設の維持管理や更新を行う。						
指標	<b>活動指標</b>	<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>R4年度実績</b>	<b>R5年度実績</b>	<b>R6年度実績</b>	<b>R7年度見込</b>
		計画書策定実施数	<b>目標値</b>	業務	1	0	3	3
			<b>実績値</b>	業務	1	1	3	-
			<b>目標達成度</b>	%	100.0	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		<b>令和3年度 決算</b>	<b>令和4年度 決算</b>	<b>令和5年度 決算</b>	<b>令和6年度 決算</b>	<b>令和7年度 予算</b>	
	<b>トータルコスト</b>		7,103	22,001	16,070	81,112	55,006	
	<b>事業費</b>		0	14,795	8,800	66,106	40,000	
	<b>特定財源</b>	<b>国庫支出金</b>	0	5,000	4,400	0	0	
		<b>県支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>地方債</b>	0	0	0	0	0	
		<b>受益者負担</b>	0	0	0	0	0	
		<b>その他</b>	0	0	0	0	0	
		<b>一般財源</b>	0	9,795	4,400	66,106	40,000	
	<b>人件費合計</b>		7,103	7,206	7,270	15,006	15,006	
	<b>正職員</b>		7,103	7,206	7,270	15,006	15,006	
<b>正職員以外</b>		0	0	0	0	0		
<b>(事業費集計済分)</b>		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	<b>正職員 (人)</b>	1.00	1.00	1.00	2.00	2.00		
	<b>正職員以外 (人)</b>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	<b>開始時の周辺環境</b>							
	人口減少社会の到来、施設の老朽化							
	<b>現状の周辺環境</b>							
人口減少、物価高騰、施設の老朽化								
<b>今後の予想される周辺環境</b>								
人口減少に伴う有収水量の減少、施設更新需要の増大、技術者の確保が困難								
評価	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>評価の理由</b>				
	妥当性	<b>1. 市の関与（税金支出）</b>	A	下水道施設の機能向上と健全度を維持するために必要である。				
		<b>2. 事務事業の目的（対象・意図）</b>	A					
		<b>3. 事務事業の目標（活動指標等）</b>	A					
	有効性	<b>4. 計画の実施状況</b>	A	計画通りに実施できた。				
		<b>5. 目標（活動指標等）の達成度</b>	A					
		<b>6. 上位施策への貢献度</b>	B					
		<b>7. 事業成果の向上へのさらなる取組み</b>	A					
	効率性	<b>8. コスト削減へのさらなる取組み</b>	A	更新工事の進捗状況により計画の見直しを行っており、国の交付金を活用しながら取り組んでいる。				
		<b>9. 類似事業との統合・代替の検討</b>	B					
<b>10. これまでの実施手段</b>		A						
<b>総合評価</b>	<b>A</b>	事務事業の方向性のとおり進めていくこと。						
改革案	<b>今後の実施方向性</b>	維持	計画的に施設の更新を進める。将来的には、官民連携手法の導入も含め着実に計画が実施できる方法を検討する。					
	<b>成果方向性</b>	成果維持						
	<b>コスト方向性</b>	コスト増大						
	<b>改革効果（どのような効果が期待できるか）</b>							
事務事業が増大する中、人員の確保が課題となっており、民間の技術力を有効的に活用することで、効率的に業務が遂行できる。								

令和7年度 事務事業評価表 ( 令和6年度実績 )

<b>事務事業名</b>		上下水道事業企画・計画業務（上水）			<b>担当所属</b>	上下水道局企画調整課		
基本情報	<b>分野</b>	7 生活基盤	<b>事業期間</b>	～				
	<b>基本施策</b>	4 水道の安定供給と下水道の充実	<b>会計種別</b>	水道事業会計				
	<b>推進施策</b>	3 上下水道施設の長寿命化・耐震化	<b>実施計画</b>		<b>総合戦略</b>			
事業概要	<b>対象</b>	管路・浄水場等すべての水道施設。						
	<b>意図</b>	安全で安定した水道水を供給する。						
	<b>成果</b>	安全で強靱な水道の持続に資することとなり、将来にわたり安定的な事業経営を実現する。						
	<b>手段</b>	「周南市水道ビジョン」「水道施設更新計画・耐震化計画」に基づき、水道施設の長寿命化・耐震化計画を策定、見直しを行う。						
指標	<b>活動指標</b>	<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>R4年度実績</b>	<b>R5年度実績</b>	<b>R6年度実績</b>	<b>R7年度見込</b>
		計画策定及び運用実施数	<b>目標値</b>	業務	0	0	1	2
			<b>実績値</b>	業務	0	0	1	-
			<b>目標達成度</b>	%	-	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		<b>令和3年度 決算</b>	<b>令和4年度 決算</b>	<b>令和5年度 決算</b>	<b>令和6年度 決算</b>	<b>令和7年度 予算</b>	
	<b>トータルコスト</b>		14,206	21,618	21,810	15,006	15,006	
	<b>事業費</b>		0	0	0	0	0	
	<b>特定財源</b>	<b>国庫支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>県支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>地方債</b>	0	0	0	0	0	
		<b>受益者負担</b>	0	0	0	0	0	
		<b>その他</b>	0	0	0	0	0	
	<b>一般財源</b>		0	0	0	0	0	
	<b>人件費合計</b>		14,206	21,618	21,810	15,006	15,006	
<b>正職員</b>		14,206	21,618	21,810	15,006	15,006		
<b>正職員以外</b>		0	0	0	0	0		
<b>(事業費集計済分)</b>		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	<b>正職員 (人)</b>	2.00	3.00	3.00	2.00	2.00		
	<b>正職員以外 (人)</b>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	<b>開始時の周辺環境</b>							
	人口減少社会の到来、施設の老朽化							
	<b>現状の周辺環境</b>							
人口減少、物価高騰、施設の老朽化								
<b>今後の予想される周辺環境</b>								
給水人口及び給水量の減少、施設更新需要の増大、技術者の確保が困難								
評価	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>評価の理由</b>				
	妥当性	<b>1. 市の関与（税金支出）</b>	B	「周南市水道事業ビジョン」「水道施設更新計画・耐震化計画」に基づき、水道施設の長寿命化・耐震化工事を実施し、強靱化が図れている。				
		<b>2. 事務事業の目的（対象・意図）</b>	A					
		<b>3. 事務事業の目標（活動指標等）</b>	A					
	有効性	<b>4. 計画の実施状況</b>	A	「水道施設更新計画・耐震化計画」及び「財政計画」との整合性を図るため、事業計画ヒアリングを開催した（R6.8）。国からの要請により「周南市上下水道耐震化計画」を策定した（R7.1）。「周南市水安全計画」を改訂した（R7.3）。				
		<b>5. 目標（活動指標等）の達成度</b>	A					
		<b>6. 上位施策への貢献度</b>	A					
		<b>7. 事業成果の向上へのさらなる取組み</b>	A					
	効率性	<b>8. コスト削減へのさらなる取組み</b>	A	国・県の動向を注視しながら、局内で整合をとりながら適切に実施している。				
		<b>9. 類似事業との統合・代替の検討</b>	A					
<b>10. これまでの実施手段</b>		A						
<b>総合評価</b>	<b>A</b>	事務事業の方向性のとおり進めていくこと。						
改革案	<b>今後の実施方向性</b>	目的（対象・意図）変更	P D C A手法により、適切な時期を定めてフォローアップを実施する。					
	<b>成果方向性</b>	成果上昇						
	<b>コスト方向性</b>	コスト維持						
	<b>改革効果（どのような効果が期待できるか）</b>							

令和7年度 事務事業評価表 ( 令和6年度実績 )

<b>事務事業名</b>		水質安全強化対策			<b>担当所属</b>	上下水道局企画調整課		
基本情報	<b>分野</b>	7生活基盤	<b>事業期間</b>	～				
	<b>基本施策</b>	4 水道の安定供給と下水道の充実	<b>会計種別</b>	水道事業会計				
	<b>推進施策</b>	1 安全な給水の確保	<b>実施計画</b>		<b>総合戦略</b>			
事業概要	<b>対象</b>	管路・浄水場等すべての水道施設						
	<b>意図</b>	安全で安定した水道水を供給する。						
	<b>成果</b>	安全で強靱な水道の持続に資することとなり、将来にわたり安定的な事業経営を実現する。						
	<b>手段</b>	「水安全計画」の適正な運用・見直しにより安全性の強化を図る。市民アンケートを実施し、需要者のニーズを的確に把握する						
指標	<b>活動指標</b>	<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>R4年度実績</b>	<b>R5年度実績</b>	<b>R6年度実績</b>	<b>R7年度見込</b>
		計画策定及び運用実施数	<b>目標値</b>	業務	0	2	1	2
			<b>実績値</b>	業務	0	2	1	-
			<b>目標達成度</b>	%	-	100.0	100.0	-
コスト	(単位：千円)		<b>令和3年度 決算</b>	<b>令和4年度 決算</b>	<b>令和5年度 決算</b>	<b>令和6年度 決算</b>	<b>令和7年度 予算</b>	
	<b>トータルコスト</b>		0	0	21,810	15,006	23,828	
	<b>事業費</b>		0	0	0	0	1,319	
	<b>特定財源</b>	<b>国庫支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>県支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>地方債</b>	0	0	0	0	0	
		<b>受益者負担</b>	0	0	0	0	0	
		<b>その他</b>	0	0	0	0	0	
	<b>一般財源</b>		0	0	0	0	1,319	
	<b>人件費合計</b>		0	0	21,810	15,006	22,509	
<b>正職員</b>		0	0	21,810	15,006	22,509		
<b>正職員以外</b>		0	0	0	0	0		
<b>(事業費集計済分)</b>		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	3.00	2.00	3.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	<b>開始時の周辺環境</b>							
	人口減少社会の到来、施設の老朽化							
	<b>現状の周辺環境</b>							
人口減少、物価高騰、施設の老朽化								
<b>今後の予想される周辺環境</b>								
人口減少に伴う給水人口及び給水量の減少、施設更新需要の増大、技術者の確保が困難								
評価	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>評価の理由</b>				
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)	B	「水安全計画」の遂行により水道水の安全性が確保できている。				
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A					
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)	A					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	「水安全計画」が適正に運用できているかの検証と改訂内容についてレビューを実施した。				
		5. 目標 (活動指標等) の達成度	A					
		6. 上位施策への貢献度	A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	自然環境、生活環境の変化に適宜対応し、局内で協議を進めながら水道水の安全確保に努めている。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	<b>A</b>	事務事業の方向性のとおり進めていくこと。						
改革案	今後の実施方向性	目的 (対象・意図) 変更	水質に関する変化が生じた場合には、迅速な対応をする。					
	成果方向性	成果上昇						
	コスト方向性	コスト維持						
	<b>改革効果 (どのような効果が期待できるか)</b>							